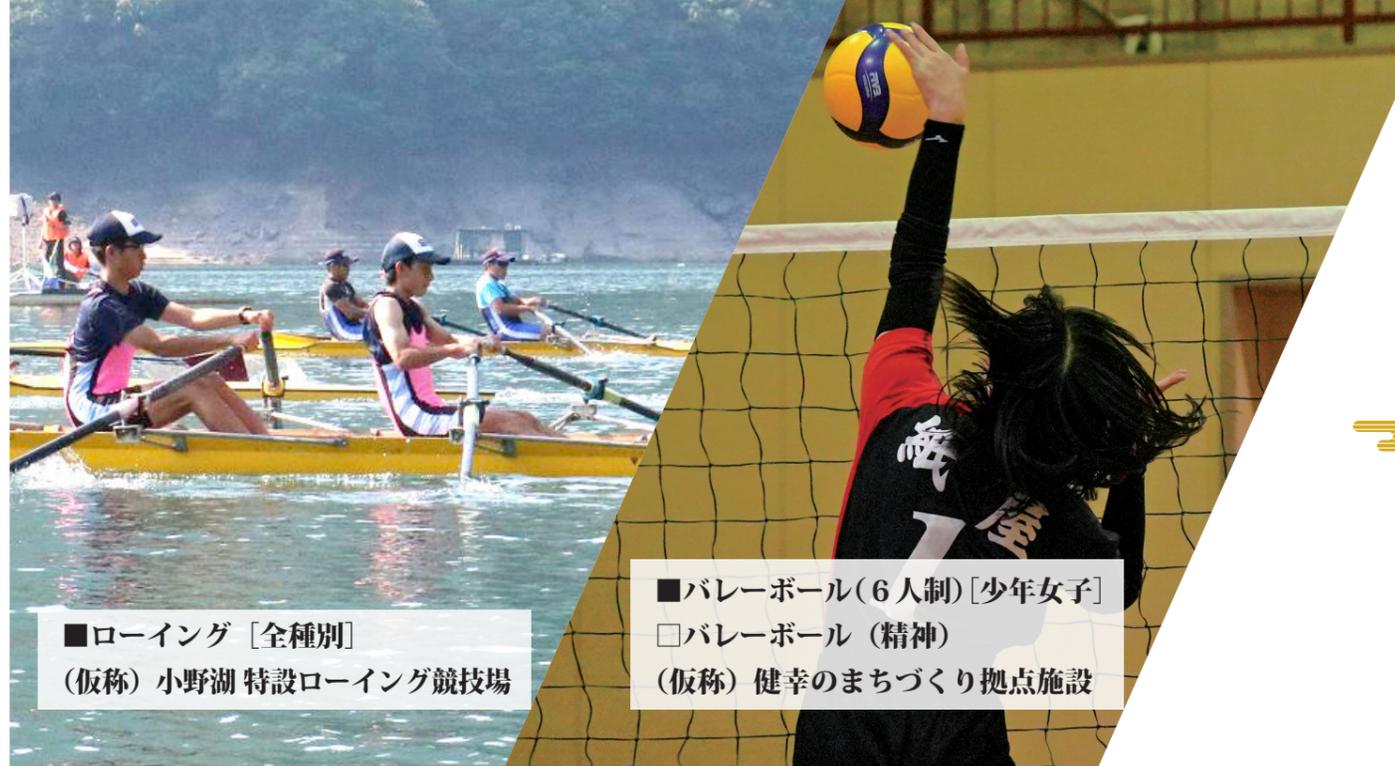


■バレーボール

ネットで分けられたコートで2つのチームがボールを落とすことなく、3回以内で相手コートに返球し、攻撃して点を取り合うスポーツ。相手コートに高い打点から放たれる強烈なスパイクやそれを押さえ込むブロック、レシーブでボールをつなぐなど、一つのボールを最後まで諦めずに追いかけるプレーが見どころです。



■ローイング [全種別]
(仮称) 小野湖 特設ローイング競技場

■バレーボール(6人制) [少年女子]
□バレーボール (精神)
(仮称) 健幸のまちづくり拠点施設

■ウェイトリフティング

バーベルを両手で頭上に持ち上げて、その重さを競うスポーツ。重量挙げとも呼ばれます。自分の体重よりはるかに重いバーベルを、上下にしなせながら持ち上げる際の迫力は必見。種目は「スナッチ」と「クリーン&ジャーク」の2種目で、3回の試技で成功した最高重量が記録となり、「スナッチ」、「クリーン&ジャーク」、そして「トータル」で順位が決定します。同記録の場合は先に記録を樹立した選手が勝者です。



■体操 (トランポリン)

トランポリンを使用して跳躍し、アクロバティックな空中演技で、美しさ・難しさ・高さを競う採点競技です。



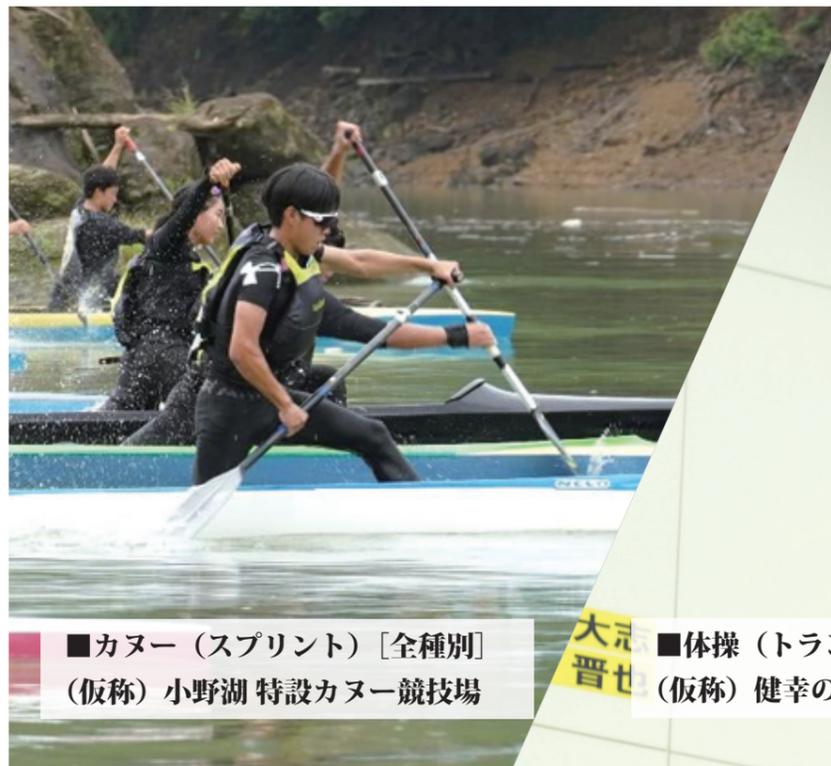
■カヌー (スプリント)

川や湖などのコースで、パドルを漕いで艇の着順を競う競技です。流れのない川や湖、ダム、港などに直線コースを設置し、一斉にスタートして着順を争います。



■ローイング

海・湖・川などに設営された距離1,000mの直線コースで着順を競います。スタート地点での加速感、レース中盤でのペース配分や駆け引き、レース後半でのラストスパートなど、コース全般で見どころが盛りだくさんです。



■カヌー (スプリント) [全種別]
(仮称) 小野湖 特設カヌー競技場

■体操 (トランポリン) [全種別]
(仮称) 健幸のまちづくり拠点施設



■ウェイトリフティング [全種別]
小林市文化会館



紡ぐ感動 神話となれ

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ

第81回国民スポーツ大会

2027

第26回全国障害者スポーツ大会

令和9年(2027年)に宮崎県で開催する国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会。国内トップアスリートたちが小林市に集まります。今号では、小林市で開催する競技の紹介や出場を目指す選手たちの意気込みなどを紹介します。

●問=国スポ・障スポ推進室 TEL 27-3325

「全種別」カヌー(スプリント)、「全種別」ローイング「全種別」とデモンストラクションスポーツのソフトバレーボール。障スポでは、正式競技のバレーボール(精神)が行われます。市は、これら競技の成功を目指し、11月15日に市準備委員会を執行委員会へ改組。今後は、オール小林で開催を盛り上げ、全ての人たちに、元氣・勇気・感動をもたらす大会を目指します。

今回、小林市で実施されるのは、国スポでは、正式競技のバレーボール(6人制)「少年女子」、ウェイトリフティング「全種別」、体操(トランポリン)「全種別」、カヌー(スプリント)「全種別」ローイング「全種別」とデモンストラクションスポーツのソフトバレーボール。障スポでは、正式競技のバレーボール(精神)が行われます。

7月17日、国内最大のスポーツの祭典「国民スポーツ大会(国スポ)」、「全国障害者スポーツ大会(障スポ)」が令和9年(2027年)に宮崎県で開催されることになりました。国民体育大会の名前で多くの国民に親しまれていた、スポーツの祭典は今年から名称が変更。宮崎県での開催は昭和54年(1979年)の「日本のふるさと宮崎国体」以来48年ぶり、2度目の開催です。大会スローガンは「紡ぐ感動 神話となれ」。大会を通して生まれる絆や感動が「神話」のように語り継がれる大会になってほしいとの思いが込められたスローガンです。

国スポ・障スポが 宮崎県で開催!

市内では
6 競技
(正式競技)



日本のひなた宮崎国スポ・障スポ
小林市実行委員会 副会長
小林市スポーツ協会会長
やすだ しょういち
安田 昭一 さん

地域の盛り上がり大会成功のカギ

前回の宮崎国体開催時は20代でした。当時は市内の宿泊施設も足りず、民泊で対応していたので、自分たちが泊めた選手たちの応援にみる市民などで会場は溢れかえり、地域全体が国体で盛り上がりました。

当時、小林市で開催したのはバレーとフェンシング。「スポーツのまち」小林では、現在もバレーボールが各地域で親しまれています。国体開催で優秀な指導者が集まり、役員育成が進み、競技人口が増加したのではないかと思います。

宮崎国スポ・障スポでは前回以上の競技数を開催します。全ての競技で活性化が進み、長く市民に親しまれる競技になると期待しています。開催まであと3年。大会を成功さ

せるために大事なことは、まず競技を知ってもらうこと。競技の魅力伝えていくことで競技者人口の増加、競技団体の強化にもつながります。

そして何より大事なことは、地域全体が大会に関わることです。大会への関わり方というのは、大会への出場だけではありません。選手の応援をはじめ、今大会ではボランティア募集もあります。地域全体の盛り上がり大会成功のカギだと思います。

中には宮崎国体で選手として参加した人や、民泊や役員で協力した人もいます。そうした人たちも立場を変え、多様な関わり方をしてほしいです。市全体で盛り上げ、小林を訪れた選手たちが、小林で良かったと思える大会づくりを目指しましょう。



小林秀峰高校
やなきた りゅうと
柳田 琉翔 さん(3年)
SAGA2024 国スポ 重量挙げ
少年男子 89kg級 スナッチ5位、
ジャーク2位、トータル2位

Q1 どのような思いで大会に挑みましたか？

全国選抜、総体と4位でメダルが取れなかったので、国スポでは自己新記録を出して絶対にメダルが欲しいと思っていました。

Q2 スナッチで5位出遅れた焦りは？

焦りはありましたが、得意種目のジャークで取り返そうという気持ちでした。

Q3 結果はジャークで151kg。感想は？

とても重く、必死でした。なかなか静止できず、失敗したと思いましたが、「成

功」と表示され、最初はうれしさより驚き。時間差で上げた実感が沸き、「よっしゃー」という気持ちになりました。

功」と表示され、最初はうれしさより驚き。時間差で上げた実感が沸き、「よっしゃー」という気持ちになりました。

Q4 苦しんで獲得したメダルはどうですか？

今までのどのメダルより重くきれいで、家に大事に飾っています。これまでがんばってきた良かったです。

Q5 3年後の宮崎国スポの目標を教えてください

技術部分が足りないと思うので、大学で体の使い方を学び、3年後の国スポでは金メダルを取って、地域に貢献したいです。

令和9年(2027年)開催 宮崎国スポ・障スポに みんなで参加しよう!

オール小林で“おもてなしの心”あふれる大会を目指して、スポーツを「する」、「みる」、「ささえる」など、市民みんながそれぞれの立場で大会に関わり、大会を盛り上げましょう。

する -PLAY- **スポーツに親しまおう!**

いろんなスポーツにチャレンジして、健康づくりに取り組みましょう

みる -LOOK- **一緒に大会を盛り上げよう!**

選手を力いっぱい応援し、大会を盛り上げましょう

ささえる -SUPPORT- **みんなをささえよう!**

ボランティア・募金・美化活動などに参加して大会を支えましょう

イベント開催決定!

開催 1000 日前 イベント

子どもから大人まで楽しめる催しがたくさん。オール小林で大会を盛り上げましょう!

1月11日(土曜)
10時~12時
文化会館

イベント内容

- 重量挙げ全日本女子選手のトークイベント
- 秀峰高校 新体操部による国スポ体操、演技
- 秀峰高生作のカウントダウンボードお披露目 など

【出展ブース】※9時30分~12時30分

- 競技用具展示
- 福祉しよっぴ など



小林こすもす支援学校高等部
たにのき だいすけ
谷之木 大輔さん(2年) ㊦
おおでらおとし りゅうが
大平落 竜雅さん(1年) ㊦

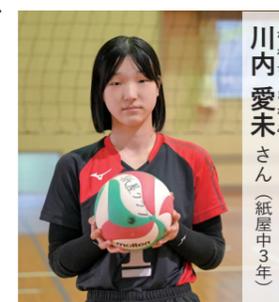
第23回全国障害者スポーツ大会「SAGA2024」バレーボール(知的)九州予選 宮崎県チーム

「みやざき SUPER ☆ PHOENIX VC」というチームに所属しバレーをしています。2人ともバレーを始めたのは1年ほど前。週に1回程度、都城に通い練習しています。

バレーでお互い得意なプレーはサーブ。自分で得点を決めたときやチームで得点を取ったときなどは気持ちが良く、楽しいです。

今は、もっとスパイクやレシーブが上手になるよう楽しく練習をしています。

3年後の宮崎県である全国障害者スポーツ大会には、ぜひ出てみたいです。がんばります。



かわち まなみ
川内 愛未さん(紙屋中3年)

県バレーボール協会
ターゲットエイジ強化指定選手

どんなトスでも決められる選手を目指す

バレーボールは先に始めていた姉の影響で、小学1年生の時に始めました。ラリーが続くことやスパイクが決まった瞬間は気持ちが良くて楽しいです。国スポ開催に向けた強化指定選手に選ばれ、県内の上手な選手と一緒に練習はとてもレベルが高く、勉強になります。自分の持ち味である左利きを生かしたライトからの攻撃を駆使するため、もっとジャンプ力を上げてどんなトスでも決められるように練習します。

卒業後は小林西高に進学予定です。大会前には、強化指定選手の人数も絞られていくと思うので、必ず残れるようがんばります。



とらんぼりんみやざき
ごとう りょうま
後藤 蒼之郎さん(大宮中2年)

第11回全日本トランポリン競技
年齢別選手権大会第3位

国スポ出場は親子の夢強みの跳ぶ高さを伸ばす

トランポリンは自分が考えている体の動きと実際のズレをいかに小さくするかが大切な競技です。練習は常に撮影し、空中での姿勢を確認しています。直近の目標は来年の世界選手権大会への出場。前回は僅差で逃し、悔しい思いをしました。自分の強みであるジャンプの高さや演技に大きく関わる精神面を鍛えて出場したいです。

3年後の宮崎国スポに向け、よく県内選手で集まり強化練習をしています。全国レベルで結果が出せる宮崎を目指します。トランポリンは迫力があり、きれいな演技も見られる見ても楽しいスポーツなので、ぜひ一度見てほしいです。